

2022年（令和4年）受賞者
栄えある受賞おめでとうございます。（敬省略）

瑞宝双光章（秋） 中野 寿 夫

厚生労働大臣表彰 田 中 宏

埼玉県知事表彰 公衆衛生事業功労者に対する知事表彰

齋 藤 幸 夫

志 田 智 樹

八木沢 英 樹



左から田中会長・齋藤幸夫氏・志田智樹氏・八木沢英樹氏

厚生労働大臣表彰を受賞

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏

令和4年7月16日経団連会館にて、厚生労働大臣表彰を受賞致しました。これまで、多大な協力を頂きました技師会の皆さま、活動を理解してくださった職場の皆さま、そして支えてくれた家族に心から感謝申し上げます。

これまで、受賞者の皆さまが周囲の方々にお礼を申し上げるのは、ある意味一部社交辞令的なごあいさつかと思っていましたが、いざ自分が受賞してみると、これまでお世話になったかたがたが走馬灯のように脳裏に現れ、心から感謝していることに気が付きました。これは、受賞したからそう感じる事ができたのか、また、そう思えるようになったから受賞できたのかは分かりませんが、少なくとも長い人生、多くのかたがたに支えられてここまでできたことは紛れもない事実であり、自分一人では何もできないということを実感しています。

さて、このたび、大臣表彰授賞式に参列させていただき感じたことを述べさせていただきます。表彰式の主催は公益社団法人日本診療放射線技師会ですが、全国の57人の受賞者と多数の来賓者の臨席があり、特に厚生労働副大臣、政務官をはじめ本会会員である畦元将吾衆議院議員、埼玉選出の三林裕巳衆議院議員、古川俊治参議院議員をはじめとする12人の国会議員のかたがたが臨席されていました。

このように表彰式を盛大に、そして厳格に行う意味について述べさせていただきます。近年、効率化やエコに関する関心が社会的に高まっています。例えば、結婚式や葬儀などの冠婚葬祭については、経済の縮小（GDP低下）やコロナ禍の影響もあり、効率化やエコへ加速的に変化しています。しかし、これは個人の話であり、団体や公人の場合、「外部への威厳」というものが必要なのです。

今から20年ほど前、外務大臣が外国で外交を行うために宿泊したホテルが豪華すぎるということで、安いホテルに変えたという報道がありました。一見すると国民の税金で外交しているのだから、エコで非常に好印象を受けるでしょう。当時の国民からも多数の賛成があったと記憶しています。しかし、私は逆であると感じました。外交には他国に対しての威厳が必要であると思うのです。それが外交を有利に進める手段の一つであるからです。外務大臣や外交官は治外法権です。宿泊施設で重要な外交が行なわれることもあります。一国の外務大臣が安いホテルに宿泊すれば、「日本国はそんなものなのか」と思われることでしょうか。つまり、外務大臣や外交官のホテルは単なる宿泊施設ではなく、外交のステージということになります。「大臣自ら節約を行い立派だ」という奥ゆかしい価値観は日本人特有だと思うのです。私は海外で大使館にお世話になったことはありませんが、どこの大使館も「この国をなめたらとんでもないぞ」と言わんばかりに装飾品を施し、礼節を重んじることで威厳を保つのだといわれています。

オリンピックや今話題の元総理大臣の国葬については国民の賛否が分かれていることも知っています（9月16日現在）。さまざまな意見を言えるというのは言論の自由の保障であり大切な事です。その上で、私が思うこととして、最も大切にしなければならないのはオリンピックであれば参加するアスリートたちと海外からの来日者への礼節（東京オリンピック2020では無観客）、そして開催国の威厳であると考えます。国葬であれば、各国からの弔意に対する日本国としての礼節、そして国の威厳だと私は思っています。古代のピラミッドや古墳も威厳を保つために作られたといわれています。

本会の動き

式典も同様です。受賞者個人への敬意はもちろんのこと、来賓者に対しての威厳が必要であり「日本診療放射線技師会は来賓者や臨席者への対応、式典を厳格に行う大人の団体だ」と思われることが、会員の誇りでもあり、今後の友好的な社会的お付き合いに繋がるのです。

私も埼玉県の会長という立場で数多くの式典に出席させていただきました。式典が終わり退席するとき、参加された周囲から「さすがですね。立派な式典でした」という言葉をよく聞きます。

人はただ知っているというだけで協力してくれるわけではありません。どんな弱小団体でも礼節をもって対応するからこそ、相手はそれなりに認めてくれるわけですし、それは今も昔も変わりません。それは日本だけでなく、多くの外国でも同様です。世の中には時代と共に変化する「価値観」と、そうではない不変の「価値」があります。これらの礼節や威厳は「価値」であり、「価値観」と混同してはなりません。

私は、大臣表彰式典において礼節を重んじ威厳をもって挙行していただいた公益社団法人日本診療放射線技師会に心より感謝申し上げます。

2022年度 第13回 CT認定講習会 開催報告

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
学術理事 中根 淳

2022年11月20日（日）に、Web会議システムを用いてCT認定講習会を開催しました。受講者は10人で、関東以外に中国地方からの参加もありました。CT認定講習会は、今まで会場型で実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、認定講習会の継続を目的とするため、昨年度より開催方式をオンラインに方向転換致しました。CT認定講習会は実習も含まれるため無事に講習会を終えることができるのか不安もありましたが、受講者の皆さまのご協力により、画面共有や遠隔操作のアプリケーションを活用し、プログラム通りに終了することができました。受講者の皆さまのご協力に感謝致します。また、講習会の途中において通信環境の影響で少しお聞き苦しい場面がありました。この場をお借りしてお詫びさせていただきます。

内容と講師は、以下の通りです。

CT認定講習会 プログラム		
8:25～8:30	オリエンテーション	
8:30～9:30	頭頸部CTの撮影法、読影講義	富田 博信 埼玉県済生会川口総合病院
9:30～10:30	腹部CTの撮影法、読影講義	八木沢英樹 JCHO東京蒲田医療センター
10:40～11:40	救急CTの撮影法、読影講義	寺澤 和晶 さいたま赤十字病院
11:40～12:40	造影技術概論	中根 淳 埼玉医科大学総合医療センター
13:40～14:40	胸部CTの撮影法、読影講義	染野 智弘 羽生総合病院
14:40～15:40	物理特性講義	城處 洋輔 埼玉県済生会川口総合病院
15:40～18:00	実習 MTF、SSPz、NPS	城處 洋輔 埼玉県済生会川口総合病院 中根 淳 埼玉医科大学総合医療センター

2022年度 第20回 胸部認定講習会 開催報告

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
 学術理事 滝口 泰徳

埼玉県診療放射線技師会主催の胸部認定講習会が、オンラインで開催されました。受講された参加者は16人おり、県外からの参加者も見られ、オンライン開催の利点であると考えています。非会員の受講者も4人おり、本講習会を通じて埼玉県診療放射線技師会の学術事業に興味を持っていただき、会員数の増加につながることを願っております。今回、第20回ということで約20年にわたり長期に講習会を続けてこられたのも、応援をしていただける会員の皆さまやご協力いただきました講師の先生方のおかげであると考えております。誠にありがとうございました。今後も、胸部認定講習会を含め皆さまの役に立つ講習会を開催致しますので、よろしくお願い致します。

プログラム (敬称略)

9:00~	オリエンテーション	
9:10~10:10	胸部単純写真の撮影法	滝口 泰徳 (JCHO 船橋中央病院)
10:10~11:10	装置の基礎	曾根 達也 (東川口病院)
11:10~11:20	休憩	
11:20~12:20	胸部のCT診断	笹原 重治 (上尾中央総合病院)
12:20~13:20	昼休み	
13:20~14:20	胸部単純撮影の適正線量と被ばく	森 一也 (埼玉県済生会川口総合病院)
14:20~15:20	胸部撮影における画像処理について	戸澤 僚太 (埼玉県済生会川口総合病院)
15:20~15:30	休憩	
15:30~17:00	胸部単純画像の読影法	佐々木 健 (上尾中央総合病院)

2022年度 第7回 DR計測セミナー 開催報告

学術担当 戸澤 僚太

例年行ってきたDR計測セミナーは、実習形式がメインであったが、新型コロナウイルス感染症流行を考慮して、本年度もオンラインセミナーとして2022年11月11日（金）19時より開催した。当日受講者は17人の参加があり、埼玉県近隣の参加以外にも、石川県や新潟県からの参加もあった。参加者のアンケートから講習会内容に関して満足度は高かったように思われるが、難易度に関しては高いとの意見が多く見られた。要因としては、実習形式が取れないことや、内容説明に対して時間が少ないことが挙げられる。

プログラムは以下に記載するが、第1部では解像特性とノイズ特性の基本を行い、教科書的な内容を基本とし、臨床での有用性にも触れた。第2部ではMTFとNPSの解析方法について実演ということで、参加者にあらかじめ配布した解析ソフトやシートを用いて、自ら復習できるように手順書も配布した。今回のセミナーによって自施設のX線検出器の物理特性を取得されることが望まれる。

プログラム（敬称略）

19：00～ 開会あいさつ・オリエンテーション

総司会：JCHO 船橋中央病院 滝口 泰徳

第1部

19：05～20：00 解像度特性とノイズ特性の基本 講師：上尾中央総合病院 樋口 誠一

第2部

20：05～21：00 MTFとNPSの解析の実際 講師：埼玉県済生会川口総合病院 戸澤 僚太